

JIS

プラスチックの滑り摩耗試験方法

JIS K 7218-1986

(2006 確認)

昭和61年2月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 61. 2. 1 確認：平成 11. 10. 20

官 報 公 示：平成 11. 10. 20

原案作成協力者：プラスチック標準試験方法研究会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 高分子部会（部会長 山口 章三郎）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

プラスチックの滑り摩耗試験方法 K 7218 1986

(1999 確認)

Testing Methods for Sliding Wear Resistance of Plastics

1. 適用範囲 この規格は、プラスチックの滑り摩耗試験（以下、摩耗試験という。）方法について規定する。

備考 1. プラスチック材料の滑り摩耗特性を比較する場合は、試験片の作製方法、試験片の形状、試験方法、評価方法などを同一条件として行うものとする。

2. この規格の中で「」を付けて示してある単位及び数値は、従来単位系によるものであって、参考として併記したものである。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、JIS K 6900（プラスチック用語）によるほか、次のとおりとする。

- (1) 滑り摩耗 一つの物体が他の物体上を転がることなく滑る場合に働く抵抗力（摩擦）によって、物体がその表面から漸次離脱していくこと。
- (2) 摩耗試験 所定の摩耗試験機を用いて、試験片を摩耗させ、摩耗量を測定すること。
- (3) 摩耗量 摩耗試験によって離脱した試験片の体積。
- (4) 比摩耗量 単位滑り距離、単位荷重当たりの摩耗量。
- (5) pv 値 面間接触圧力 (p) と速度 (v) の積。

引用規格：JIS B 0601 表面粗さの定義と表示

JIS B 7502 外側マイクロメータ

JIS B 7503 0.01 mm 目盛ダイヤルゲージ

JIS B 7509 0.001 mm 目盛ダイヤルゲージ

JIS B 7733 圧縮試験機

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

JIS H 4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線

JIS K 5108 鉛丹（顔料）

JIS K 6900 プラスチック用語

JIS K 7100 プラスチックの状態調節及び試験場所の標準状態

JIS K 7112 プラスチックの密度と比重の測定方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

関連規格：JIS B 0021 幾何公差の図示方法

JIS Z 8203 国際単位系 (SI) 及びその使い方